

事例番号:300183

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 37 週 3 日

14:40 骨盤位、予定帝王切開のため入院

4) 分娩経過

妊娠 37 週 4 日

14:01 帝王切開にて児娩出、骨盤位

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:37 週 4 日

(2) 出生時体重:3490g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.324、PCO₂ 43.0mmHg、PO₂ 31.0mmHg、

HCO₃⁻ 21.9mmol/L、BE -4.1mmol/L

(4) アプガースコア:生後 1 分 7 点、生後 5 分 8 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 6 日 哺乳力緩慢

生後 7 日 哺乳力不良と頭蓋内病変の原因の精密検査、および今後の管理
目的のため転院

生後 24 日 退院

(7) 頭部画像所見:

生後 6 日 頭部 CT で低酸素・脳虚血で障害されることの多い大脳基底核・視床に信号異常は明らかには認めないが、大脳および小脳に著明な容量低下を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 2 名

看護スタッフ: 看護師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

脳性麻痺発症の原因を解明することが極めて困難な事例であるが、妊娠経過中のいずれかの時期に一時的に生じた胎児の脳の低酸素・虚血、あるいは先天異常のいずれかの可能性を否定できない。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

(1) 妊娠中の管理は概ね一般的である。

(2) 妊娠 36 週 1 日に骨盤位のため妊娠 37 週 4 日に帝王切開予定としたことは一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 37 週 3 日予定帝王切開のため入院したこと、および入院後の管理(内診、バイタルサイン測定、分娩監視装置装着、間欠的胎児心拍聴取)は一般的である。

(2) 妊娠 37 週 4 日に骨盤位のため帝王切開を実施したことは一般的である。

(3) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

(1) 出生直後の新生児管理は一般的である。また、生後 5 日に黄疸および体重減少で当該分娩機関小児科に入院とし光線療法を実施したこと、生後 6 日に頭部超音波断層法と頭部 CT を実施したことは一般的である。

(2) 生後 7 日に哺乳力不足と頭蓋内病変の原因の精密検査のため高次医療機関

NICUへ搬送したことは一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

家族から意見が多くあるため、医療スタッフは妊産婦および家族と円滑なコミュニケーションが行えるよう努力することが望まれる。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

原因不明の脳性麻痺の事例集積を行い、その病態についての研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。